

公共の仕組みを理解し、公共への関心を高めたい方に

私的と公的の違いから 公共の必要性を考えよう!

人生100年時代! 公共との関わり合いなしには生きていけないと思います。そもそも、年金は「私的」にも「公的」にも運営できるのに、どうして公的に関与する必要があるのでしょうか? 財の供給メカニズムである市場原理と多数決原理の役割分担から、公的年金の必要性和私的年金の役割について考えていきます。

阿部公一 教授

- 出張講義分野
社会保障・公的年金
- 研究分野のキーワード
年金教育と情報発信、年金広報政策、国民年金加入行動啓発
- 専門分野
年金教育



大学ではこんなことを研究しています

平成30年度日教弘本部奨励金の助成を受けて、「高校の新設「公共」科目における年金教育の単元開発と実践的ディベート教材開発」の研究を進めてきました。また、「国民年金行政における年金広報政策としての年金教育」についても研究を進めています。今後は、「SDGsと社会保障・年金教育」についても展開していきたいと思います。

先生からメッセージ

政策コースに所属し、「公的年金論」「社会保障論a・b」「政策入門」「プロジェクト型応用演習(国民年金加入行動啓発プロジェクト)」「基礎演習」等の科目を担当しています。『国民年金加入行動啓発』『年金ディベート道場』『令和の年金広報コンテスト』のKeywordを検索してみてください。演習科目を通じて作成した教育用動画を視聴することができます。

略歴 明治学院大学大学院経済学研究科修士課程修了。修士(経済学)。
2001年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2013年4月より現職。
厚生労働省年金局の依頼により、「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会」の構成員を務める。